資料１

平成２５年度文化財保護事業報告

１．委員会

「清須市文化財保護条例」（平成１７年７月７日条例第８５号）、「清須市文化財保護規則」（平成１７年７月７日教育委員会規則第３１号）に基づいて設置。

・文化財保護審議会：年１回開催（平成２６年３月２５日）

２．文化財保護

時代推移の中で先人が残した貴重な文化財を後世に残すべく、郷土の歴史の特徴をあらわした文化財資料を中心に保存と保護を図る。

⑴　文化財の指定：清須市内の指定文化財は国・県・市指定を含めて３３件。

【清須市内指定文化財等一覧】（資料３）

※国指定１、県指定３、市指定２８、国登録１（計３３件）

⑵　埋蔵文化財の保護

清須市内には、弥生時代最大級の集落とされる朝日遺跡、清洲城下町遺跡等が存在し清洲地区を中心に埋蔵文化財包蔵地が広く分布している。埋蔵文化財包蔵地の周知、有無の確認、発掘にかかる届出の受理、発掘調査等の実施等に対応している。

【清須市内の遺跡一覧】（資料３）

【平成２５年度】（平成２６年３月１０日現在）

９３条届出	９４条通知	有無照会	確認調査	発掘調査
７９件	３件	１件	１件	１件

※９３条届出：民間開発に伴う届出、９４条通知：公共事業に伴う通知

①　発掘調査

一場御園地区（宅地造成に係る道路敷設に伴う調査）２６年度報告書刊行予定

②　清洲城下町遺跡柿経保存処理

２５年度より４ヵ年計画で実施。本年度は約１７０片を処理。

３．啓発活動

生活様式及び社会環境の変化の中で、失われていく文化遺産（埋蔵文化財・史料・民俗・環境・自然等）の大切さを理解し、文化財愛護と保護活動への意識向上を図る。

⑴　歴史資料展示室における資料の公開

清須市立図書館内歴史資料展示室において、市の歴史を概観できる常設コーナーと、より深いテーマ性をもつ展示を行う企画コーナーを設け、市民に親しみの持てるわかりやすい展示をめざす。

①　重要文化財指定記念展サテライト展示「朝日遺跡のはじまり」

・会　　期　　平成２５年２月９日（土）～５月１９日（日）

・展示内容　　愛知県清洲貝殻山貝塚資料館で開催した県の重文記念展のサテライト展示を開催した。県教委より学術的に貴重な貝殻山貝塚地点の調査資料を中心に借用し、朝日遺跡のはじまりともいえる貝殻山貝塚の重要性とともに朝日遺跡の姿を紹介した。

・入室者数　　７，９５３名（２５年４月以降分　３，４３９名）

②　企画展「戦争中の暮らしー銃後の清須の女性と子どもたちー」

・会　　期　　平成２５年６月１日（土）～９月２９日（日）

・展示内容　　清須市所蔵資料を中心に戦争に関連する資料を展示し、とくに戦時中での銃後の人々の暮らしについて、戦争体制下に組み込まれたこの地域の女性と子どもたちの様子の一端を主に紹介して、当時の歴史をみつめ平和の希求について考える機会を提供した。

・入室者数　　７，３４５名

③　企画展「清洲城下町遺跡の発掘～新出土品展～」

・会　　期　　平成２５年１０月１２日（土）～平成２６年３月３０日（日）

・展示内容　　近年行われた清洲城下町遺跡発掘調査から、報告書が刊行された一場神明前地点、清洲城広場地点、清洲内堀地点の３ヶ所の成果中心に紹介することで、清須城の歴史について知っていただく機会を提供した。また、常設コーナーでは気候の条件がよい１１月末まで、清洲小体育館地点で出土し、保存処理が終了した箍締め柿経の特別展示を行った。（通常はレプリカ展示）

・入室者数　　５，５６３名（平成２６年２月末現在）

⑵　文化財講座・講演会

①　文化財講座

・会　　場　清洲市民センター３階３０２視聴覚室他

・定　　員　４０名（受講者数：延べ１８４名）

回	月／日	受講者数	内容	講師（敬称略）
1	4/25 (木)	38	朝日遺跡、よみがえる弥生の技 ※愛知県清洲貝殻山貝塚資料館現地見学	県生涯学習課文化財保護室 原田　幹
2	5/16 (木)	41	北丹波・東流遺跡の調査成果 ～2012 年度調査を中心に～	県埋蔵文化財センター 調査研究専門員　永井　宏幸
3	6/20 (木)	36	稲沢市下津宿遺跡の調査	県埋蔵文化財センター 調査研究専門員　樋上　昇
4	7/18 (木)	33	甚目寺について ～古縁起と発掘調査～	あま市美和歴史民俗資料館 学芸員　内山　伸也
5	8/22 (木)	36	水と共に生きてきた	八開郷土資料室 学芸員　石田　泰弘

② 文化財講演会

・講 演 名　「大象、美濃路を行く」

・講　　師　林　董一氏（愛知学院大学名誉教授）

・期　　日　平成２６年３月１日（土）

・会　　場　にしびさわやかプラザ３階研修室

・参加者数　５９名

・内　　容　江戸時代に東海道と中山道を結ぶ脇往還だった美濃路。将軍上洛時のほか朝鮮通信使などが通行したが、享保年間に将軍家への献上のため、象が美濃路を通った。そのことを中心とした美濃路に関する講演を行った。

⑶ 文化財関係刊行物の販売

生涯学習課と西枇杷島問屋記念館にて刊行物の販売を行なっている。

【文化財関係刊行物一覧】（資料３）

⑷ 歴史文化振興事業

平成１９年度に新川町史編さん事業終了後、清須市で所蔵する資料の調査・整理作業を継続して行っている他、歴史資料展示室の企画・運営等を行っている。

⑸ 国重要文化財指定記念展関連事業（平成２５年度分実施事業）

平成２４年度に朝日遺跡の出土資料２，０２８点が重要文化財に指定された事を記念し、愛知県清洲貝殻山貝塚資料館での国重要文化財指定記念展「朝日遺跡、よみがえる弥生の技」開催に伴い、愛知県教育委員会、清須市、清須市教育委員会、公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センターの主催で様々な関連事業を実施し、朝日遺跡の姿を紹介した。

ア　国重要文化財指定記念展「朝日遺跡、よみがえる弥生の技」（県教委主管）

・会　　期　平成２５年３月２０日（水・祝）～5月１９日（日）

・会　　場　愛知県清洲貝殻山貝塚資料館

・展示内容　重要文化財に指定された出土品を中心に、土器、石器、木製品、骨角製品、金属製品など、朝日遺跡の高度な「ものづくり」の技術に焦点をあてて紹介した。

・入館者数　９，４０２名（２５年４月以降分　８，０８９名）

イ　重要文化財指定記念展サテライト展示「朝日遺跡のはじまり」（※前述）

ウ　きよす歴史スタンプラリー（市主管）

・開 催 日　記念展開催期間中の土日祝

・設置会場　貝塚資料館（ゴール）、清洲城、歴史資料展示室、問屋記念館

・内　　容　上記施設中３ヶ所以上をめぐりスタンプを集める。ゴールした方に記念品（クリアファイル）進呈

・配 布 数　３２８枚

エ　ワークショップ（市主管）

・期　　日　　平成２５年５月１１日（土）

・会　　場　　愛知県清洲貝殻山貝塚資料館

・参加者数　　親子４組

・内　　容　　重文展を見学、説明を受けた後、実際に弥生土器に触れるなどの体験を行い、本物そっくりのペーパークラフトを作成した。

オ　関連講座（県教委・埋文主管）

・会　　場　　清洲市民センター３階３０２視聴覚室

・第　１　回

月／日	受講者数	内容	講師（敬称略）
4/20 (土)	69	①重要文化財になった朝日遺跡出土品	県生涯学習課文化財保護室 原田　幹
		②謎の円窓付土器から交流をかんがえる	県埋蔵文化財センター 調査研究専門員　永井　宏幸
		③朝日遺跡出土品からみた人と木との関わり	県埋蔵文化財センター 調査研究専門員　樋上　昇

・第　２　回

月／日	受講者数	内容	講師（敬称略）
4/27 (土)	57	④石のヤジリの身の上話	県生涯学習課文化財保護室 原田　幹
		⑤朝日遺跡の骨角製漁具について	県埋蔵文化財センター 調査研究専門員　川添　和暁
		⑥朝日遺跡の銅鐸、青銅製品	県埋蔵文化財センター 調査研究専門員　宮腰　健司

カ　講演会・シンポジウム（県教委・埋文主管）

・期　　日　　平成２５年５月１８日（土）

・会　　場　　清洲市民センター１階ホール

・参加者数　　２１７名

・講 演 会　　講師　深澤　芳樹氏（元奈良文化財研究所副所長）

演題　「朝日遺跡、東海に花開いた弥生文化」

・シンポジウム　「朝日遺跡、弥生時代の技術と社会」

司会　石黒　立人（愛知県埋蔵文化財センター）

パネラー　深澤芳樹、宮腰健司、永井宏幸、樋上昇、川添和暁、原田幹の各氏

・内　　容　　全国的な視野から朝日遺跡のもつ学術的な意義や価値についての講演の他、シンポジウムでは、朝日遺跡の調査・研究に携わって

きた調査員も加わり、最新の研究成果をふまえた議論を行った。

４．施設管理・運営

各方面からの寄贈により収集された貴重な文化財資料の保存・管理に努めるとともに、それらを整理・展示して広く一般公開を図る。

⑴　西枇杷島問屋記念館

・名　　称　　清須市西枇杷島問屋記念館

・所 在 地　　清須市西枇杷島町西六軒２０

・面　　積　　敷地面積　１，３９１．５５㎡　延床面積　１５１．６２㎡

　　　　　　　主　　屋　　　　９８．８２㎡　離　　れ　　５２．８０㎡

・構　　造　　木造２階建

・開　　館　　平成５年４月

・概　　要　　「下小田井の市」の創始者の一人といわれる九左衛門家の住居を、平成４（１９９２）年に、移築復元したもの。明治初期に建てられ、美濃路を形成してきた町家のなかでも江戸時代の青物問屋の様式を伝える貴重な建物。

・開館日数　　３０８日（５７日休館）

・入場者数　　４，１５５名（２月末日現在）

⑵　新川民具資料室：収蔵品の整理を行う

５．指定文化財補助

市指定文化財（個人等管理）に対し、修理・管理・公開について補助を行った。

⑴　修理費補助　　有形民俗文化財（山車）　　５件

⑵　管理費補助　　①　有形文化財　　　　　　７件

　　　　　　　　　②　有形民俗文化財（山車）６件　　計１３件

⑶　公開費補助　　有形民俗文化財（山車）　　５件

　　　　　　　　　（尾張西枇杷島まつり５件）

⑷　文化財関連団体

○　西枇杷島町山車保存会

・目　　的　　西枇杷島に所在する山車の保存・管理、尾張西枇杷島まつりにおける山車の運行を図る。

・役　　員　　会長　後藤昌治　副会長・会計他

・会 員 等　　橋詰町、問屋町、東六軒町、西六軒町、杁西町の町内会会員

・主 事 業　　尾張西枇杷島まつりにおける山車運行他